

長崎がんばらんば国体 2014 優勝報告会

平成 26 年 10 月 28 日（火）に、第 69 回国民体育大会「長崎がんばらんば国体 2014」で優勝した弓道・ボクシング・陸上の選手の皆さんが県庁を訪れ、八重樫勝教育委員長に優勝報告をしました。



優勝した選手の皆さんと八重樫教育委員長と高橋教育長。写真左から八重樫教育委員長、梅村 錬選手（ボクシング）、村川春圭選手・菊池ひかり選手・瀬川素子選手（弓道）、田中匠瑛選手（陸上）、高橋教育長。

◇◆◇◆◆長崎がんばらんば国体 2014 優勝者（敬称省略）◇◆◇◆◆

【弓道 成年女子遠的】

瀬川素子（ラッキーバッグ花城薬局） 菊池ひかり（県立大） 村川春圭（盛岡市下水道局）

【レスリング 成年男子フリースタイル 125 キロ級】

金沢勝利（自衛隊体育学校）（今回の報告会は、海外遠征中につき欠席）

【ボクシング 少年男子ミドル級】

梅村 錬（江南義塾盛岡高）

【陸上 成年男子 800m】

田中匠瑛（盛岡市役所）

～ 報告の様子～



弓道競技成年女子の遠的では、初となる快挙。この3人のメンバーで国体に出場するのは今年が3年目になります。昨年は近的で7位、一昨年は遠的で5位という実績もあることから、選手の皆さんは「来年は遠的・近的の両方での入賞を狙います！」と次なる目標を力強く述べていました。



昨年の東京国体では惜しくも第2位だった梅村選手。今年は悲願の優勝！ボクシング競技の国体少年男子の優勝は実に18年ぶりです。梅村選手自身は今年のインターハイ優勝に続き、既に2冠達成。「今年のインターハイ、国体、選抜大会、来年のインターハイ、国体と5冠を狙います！」と更なる高みを目指すと力強く話してくれました。



長崎国体 1 週間前の全日本実業団選手権でも同種目で優勝した田中選手。昨年の国体は青森県から出場し第 2 位。そして今年は岩手に就職し、岩手代表選手として優勝。フィニッシュ後、ユニフォームの胸の「岩手」の文字をしきりにアピールしてくれました。「和歌山国体では大会新で優勝し、岩手国体で自分の記録をまた更新して優勝したい！」と決意を述べてくれました。

今回の長崎国体は台風 19 号の影響により、大会第 2 日目は 8 競技が中止となりました。そのため、レスリングの金沢選手がエントリーした成年男子フリースタイルは全ての階級で 8 強の選手が優勝となりました。金沢選手は日本代表合宿に参加するだけの力もあり、本人も万全の状態でのこの国体に参加していただけに、「最後まで勝負し、優勝したかった。」と関係者に話していたそうです。

優勝した選手の皆さんが共通して話してくれたことがあります。

今回の試合で、また新たな課題が見つかった。

この課題を克服していけば、今よりもっと強くなれる！

優勝してもまだ進化を続けようとする選手の皆さんの姿勢は、まさにチャレンジャーそのものでした。

今回の長崎国体は残念ながら昨年度より順位を落とし、**天皇杯 37 位** という結果でした。

岩手国体まであと 2 年を切りました。冬季国体まではあと 1 年半。各競技団体、そして選手の皆さんが、それぞれの課題を一つずつ克服していけば、今よりもっと強くなれるはずです。優勝選手からの教を胸に、岩手国体へ向けてリスタートしていきましょう。

頑張ろう！ 岩手県選手団！